

第3種郵便物認可

【月ぎめ購読料(消費税込み)2,990円】

# ヘリパッド工事中止要請

## 瑞慶覧氏ら 反対住民への対応でも 防衛局に

民主党の瑞慶覧長衆院議員と同県連の上里直司政調会長らは21日、沖縄防衛局を訪問し、真部朗局長に対し、東村高江の米海兵隊ヘリパッド新設工事の中止を求め、反対住民・支持者への丁寧な対応を要請した。基地・軍隊を許さない行動する女性たちの会の高里鈴代共同代表らも同局を訪れ工事中断を求めた。

今月3日に沖縄防衛局が進入路工事などを再開して以来、反対行動を取る住民と防衛局や工事受注業者のせめぎ合いが激しさを増している。

要請で瑞慶覧氏が「『中止しろ』と言ったら『はい』と言えるか」と問うと、真部氏は「『はい』は言えない。総理やしかるべき人が決めないと、勝手に

(中止)できない」と答え、現時点で工事の中止は困難との認識を示した。

また瑞慶覧氏は、海兵隊ヘリのホバリングで市民団体のテントが被害を受けたとされる件に関し、防衛局と在沖米軍当局者との会談議事録の開示も要請。真部氏は「米側の了解がないと出せない」と拒んだ。要請後、瑞慶覧氏は記者

団に「引き続き、私の立場で、政府または党を通して中止を求めていく」と述べた。瑞慶覧氏らはこの後高



高江での工事中止を真部朗沖繩防衛局長に要請する瑞慶覧長衆院議員(左)ら。21日、沖縄防衛局

江のヘリパッド工事現場を視察した。

高里氏と桑江直哉沖繩市議会議員らは「工事強行に抗議し、一時中断を求め」とする要請書を同局職員に手渡した。要請人には県選出の国会議員や市議らが名を連ねている。高里氏らは「まず工事を止めて、しっかり説明をすることが必要。市民にも現状を知っていただきたい」と語った。



高江での工事中止を求め職員に要請書を手渡す桑江直哉沖繩市議会議員(左)と高里鈴代氏(右)ら。21日、沖縄防衛局